

34歳以下

女性被保険者(本人) の皆様へ
被扶養配偶者(奥様)

2023年度 がん検診等の実施のご案内

昨年度に引き続き、将来がんになるリスクの有無がわかる HPV 検査を実施いたします。子宮頸がんは、性交渉により原因ウイルスである HPV(ヒトパピローウイルス)に持続感染することで発症します。早期発見予防のためぜひご受診ください。

ホームページ掲載日

2023年6月1日

ホームページアドレス

<http://hyogotoyota-kenpo.or.jp/>

対象者

(年度末年齢)

34歳以下の女性被保険者・被扶養配偶者(2024年3月31日時点の年齢)

※ 検診当日に当組合未加入の方は受診できません

1. がん検診

対象者の方は、受診期間内に下表の①～③の中からいずれか1つと、④の希望する検診を2つまで選択してご受診いただけます。(但し、(2)自費検診補助の①を選択した場合に限っては、(1)郵送検診の②との併用受診が可能です。)

申込・受診に関する詳細は、各自で組合 HP「健康づくり」→「郵送検診(34歳以下)」のページから各検診案内等をご覧ください。

		(1) 郵送検診 (子宮頸がん・HPV・子宮頸がん+HPV)	(2) 自費検診補助 (子宮頸がん・乳がん)
検査 検診 項目 内容	子宮頸がん	① 子宮頸がん(細胞診)【単体】 …専用器具又は医師の子宮頸部細胞採取により、がん細胞等を見つける検査	
		② HPV【単体】 …14腫のハイリスク型 HPV(ヒトパピローウイルス)感染の有無を調べる検査	—
		③ 子宮頸がん(細胞診)+ HPV【①②を同時】 …子宮頸がん細胞診と HPV をセットで同時に調べる検査	—
	乳がん	—	④ 乳がん
自己負担	なし(全額組合負担)(定価 3,000 円～8,000 円を無料) 申込後、検体未提出者は費用をご請求する場合があります。器具紛失、やむを得ず受診できない場合は、各自で検査機関まで電話連絡願います。	検診費用実費負担後、申請により費用の一部(各検診上限 3,000 円)を補助 保険証を使用した「保険診療」は補助の対象外となります。	
受診場所	ご自宅等で専用器具にて自己採取	指定なし(医療機関・自治体(市区町村)検診など)	
申込(申請)期間	2023年6月1日～2023年6月30日	2023年6月1日～2024年3月20日	
受診期間	2023年6月1日～2023年8月20日	2023年6月1日～2024年2月29日	
利用方法 (流れ)	1. 各自で検査機関へ申込(6/30迄) 2. 検査機関から申込者宅へ検査器具等が届く 3. 検体採取後、検査機関へ返送(8/20迄) 4. 検査結果が受診者宅へ届く	1. 各自で医療機関等へ予約 2. 保険証を使用せず、検診費用を全額立替払いで受診(2/29迄) 3. 組合へ補助金申請(3/20迄)	
申込(申請)方法	組合 HP 又は下記の QR コードを読み込み申込(6/30迄) *QRコード…携帯等で QR コードを読み込み、「申込フォーム」入力・送信  ※上記申込みができない方は当組合までご連絡ください	組合 HP へアクセスし、「自費検診補助金申請書」を印刷記入の上、領収書・検査結果を添付して組合へ送付(3/20迄)	
申込案内 (案内・申込書・要領他)	実施案内・申込用紙は組合 HP からダウンロードできます(対象者各自で閲覧・印刷願います) (本人からの申し出により、希望者への書面送付もいたします)		
問合せ先	● 検診業務委託先: メスプ細胞検査研究所 【TEL】075-231-2230 【FAX】075-211-7400 ● 兵庫トヨタ自動車健康保険組合 【TEL】078-252-2806 【FAX】078-272-2146	● 兵庫トヨタ自動車健康保険組合 【TEL】078-252-2806 【FAX】078-272-2146	

2. 乳がんグローブ(自己触診用)配付【実施期間:通年】

当組合では、乳がんグローブ(12枚セット)の無料配付を行います。希望者は、組合 HP「健康づくり」→「郵送検診(34歳以下)」のページから「乳がんグローブ申込書」を印刷記入の上、組合へご送付ください。なお、昨年の配付者へは継続配付予定ですので暫くお待ちください。

「郵送検診」は裏面をご参照ください

子宮頸がんを知って予防しましょう！

「自分には関係ない・・・」と思いませんか？
あなたにも子宮頸がんリスクがあるのです。

子宮頸がんは「HPVによる持続感染」が原因

子宮頸がんは、**ヒトパピローマウイルス（HPV）**の感染によって発生します。HPVは性交渉により感染するありふれたウイルスで、通常は感染しても免疫力で自然に排除されますが、約10%の人では感染が長期間持続します。このうち自然治癒しない一部の人には前がん病変を経て、数年以上をかけて子宮頸がんに行進します。HPVには100種類以上の型が存在することがわかっていますが、子宮頸がんに関係するHPVはハイリスク型HPVの中でも、**HPV16型、18型**が子宮頸がんに進展する可能性が高く、感染した後に**悪化するスピードも速い**といわれています。しかし子宮頸がんは検診によって予防や早期発見が可能ですので、**定期的な検診がとても重要**です。

早期で発見できれば子宮を残して90%以上治療します。

検査は簡単！ご自宅で、ご都合のいい時に！

専用器具を使い子宮腔・頸部の細胞を自己採取し、
検査機関へ返送するだけ！

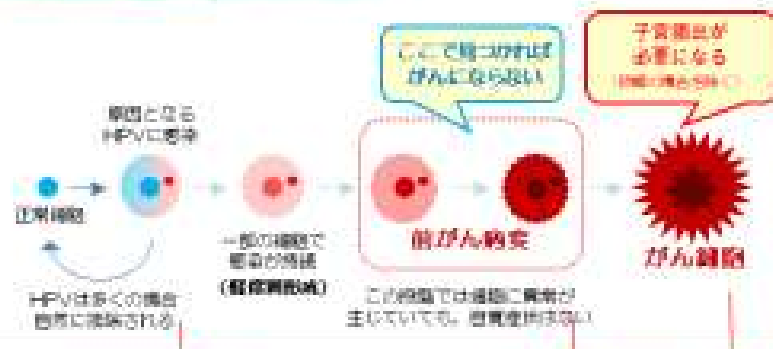
※経期中の方は申込みできません。

●採取器具●

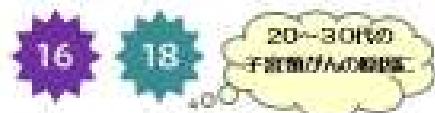


専用の器具（図）を使い子宮腔・頸部の細胞を自己採取し、検査機関へ返送するだけ！

<子宮頸がん細胞の発生メカニズム>



<若い女性に多いHPV16、18型>



HPV16、18型
＝日本の子宮頸がんの約70%

20代の子宮頸がん（1期以上）の90%
30代の子宮頸がん（1期以上）の76%

② HPV検査

子宮頸がんを引き起こす14種類のハイリスク型HPV感染の有無を調べる検査です。



① 細胞診

子宮腔・頸部の細胞を顕微鏡で調べます。がん細胞や異型細胞（前がん状態）の発見を見つめます。



一度の採取で①②の検査を同時に受けられます！

結果が有所見であった方は、必ず精密検査を受けましょう

受診後も安心！



検査機関では、受診者の方にあった病院をご紹介します。
紹介状の作成（無料）もしていますので、
お気軽に検査機関にお問合わせください。

検査機関：メスブ細胞検査研究所 TEL (075) 231-2230

HP <http://www.msb-kyoto.co.jp/>



【注意事項】

- ・精密検査は癌発生率が低い方を対象としています。すでに癌発生が気になるところがある方は医療機関にご受診ください。
- ・精密検査はスクリーニング検査（一次検診）であり、検診結果は癌を診断するものではありません。異常を、同じの検査が認められた場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。
- ・精密検査の結果結果のみで病名を判断できるものではありません。「異常なし（陰性）」の結果の方も、癌発生が気になるところがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。